



鶴ヶ島市立新町小学校 学校だより

SEIGAIHA
青海波

学校教育目標

かがやく自分へチャレンジ

令和8年5月8日発行

第2号

鶴ヶ島市新町4-25-1

049-285-6598

文責 校長 安達 隆元

自分の思い通りにならない【壁】⇒【成長】に必要なこと



春の日差しのもと、新緑の若葉が日一日と色を濃くしています。子どもたちは、学級、通学班、「新町タイム」グループ、クラブ・委員会など様々な集団の中で新たな人間関係を築きながら過ごしています。その中では、自分の思い通りにならないことにも出会います。そのようなときに、どのように対応していくのか、誰を頼るのか、時にはどのように折り合いをつけていくのか、その術（すべ）を学ぶことは、子どもたちが【成長】していく上では、とても大切なことだと思います。

様々な授業や行事、遊びの中でみんなと共に過ごすことの楽しさを味わう、譲り合うことを学ぶ、また、できなかったことが努力してできるようになる等、様々な体験・経験を通して、子どもたちに、やりきる力、思いやり、我慢する心、感謝する心など、所謂、【非認知能力】が育まれていくのだと思います。子どもたちは、自分の力だけでは思い通りにならないことを乗り越えながら、次第に【成長】していきます。そう考えると、集団生活の中で、発達の段階に応じた自分の思い通りにならない【壁】にぶつかることも、子どもたちの【成長】に必要なことなのだと思います。

さて、連休も終わりました。子どもたちが色々なことに少しずつ慣れてきたこの時期、張り切っていた気持ちが何かにつまずいて沈んでしまったり、慣れてきたために自分に都合のいいルールや思い込みで行動してしまったりすることもあるかもしれません。時には、言葉で相手を傷つけてしまったり、相手の言葉に傷ついてしまったりすることもあるかもしれません。子どもたちの【成長】を信じ、もし、子どもたちが自分勝手な言動をしていたら気づくよう諭してあげることも大人の重要な役割であると考えます。子どもたちのことを近くで見ている大人が、よいところを認め励ましつつ、発達段階や状況に応じて必要な言葉かけをしていくことが、子どもたちの成長には大切ではないでしょうか。



つきましては、新年度から一息つくことができるこの時期に、改めてお子様とじっくりと話をする時間を意図的に設けていただき、その様子・考えに目を向けていただければと思います。もし、お子様のことでご心配やお悩みがありましたら、いつでも学校までご相談ください。